



## 2月 校長講話

### 『心を育てる～集団登校～』



今日は、朝の登校についてお話をします。皆さんが登校するとき、地域やPTAの方が安全見守りをしてくださっています。ボランティアでしてくださっている方、今27名の方がいます。ただただ皆さんの安全を願って、見守ってくださっています。挨拶はできていますか？先日、スキー教室の前の日に、登校時間が早くなることをボランティアの皆さんに教えてくれた友達がありました。とてもうれしかったです。地域の皆さんは、おおよその登校時刻は知っていますが、学校行事や急な休みの日は知りませんので、前日に皆さんが教えてくれるととても助かります。お願いします。

さて、みなさんが毎日取り組んでいる「集団登校」について、ここで振り返ってみたいと思います。

美篤小学校の集団登校の始まりを学校の日記で調べてみました。調べていくと、交通事故という記録が度々ありました。40年ほど前、大きなけがをしたという記録がありました。当時は(昭和57年)4月、5月と交通安全教室が開かれています。そして昭和59年4月の記録に「通学班の確認」とありました。おそらくこの年には、集団登校が行われたということが分かりました。今から36年前のことです。それからずっと続けてきた歴史のある活動です。お家の方も、皆さんの交通安全を願って、50年も前(昭和44年)にPTAの交通安全指導部ができて、みなさんの登下校の安全について動いてくださっています。

事故が無いように、皆さんの命を守るようにと願い、行っている集団登校ですが、このこと以外にも、皆さんにとってよいことがあるのではと考えました。思いついたことを言います。

1. 集合時刻に間に合うように早寝・早起きが習慣になる。一日の生活のリズムができる。
2. 仲間で気を付け合い、支え合う協力の心が育つ。
3. 上級生は、低学年の様子を見ながら歩く速さを気遣う心や責任感が育つ。下級生は安全や仲間との過ごし方について上級生から学ぶことができる。
4. 勝手な行動はしない。集団の一員としての自覚が育つ。そして、相手を思いやる心が育つということです。

しかし、集団登校での取り組みがうまくいかないと、

1. 危険が増える。先日も、友だちと追いかけてこをして、道路にはみ出て車に引かれそうになった人がある。クラクションを鳴らされた人もいる。列が空いて、駆け足で追いつこうとして道路に飛び出してしまう人もいる。
2. ばらばらになってしまう班は、リーダーも責任を果たせない。下級生も協力する心が育たない。
3. 時間に遅れる人がいたとき、リーダーは、時間通りに出発してよいのか、待つ方がよいのかとても困る。家まで迎えに行った方がよいのか、集合場所で待つ方がよいのかとても困っている。

そこで、グループによって方法が少しずつ違いがあるかもしれないですが、次のことをマナーとして大事にしましょう。

生活のきまりには ①集合時刻を守る ②一列で安全に歩き、勝手な行動はしない ③集団登校しないときは班長に連絡する。とあります。さらに、よりよい集団登校にするために、一人一人が次の事を考え行動してほしいと思っています。

1. 集合時間に遅れないように、早寝早起きをする。いつもの生活をきちんとすることにつながります。
2. 班全体は時間通りに出発します。時計がない集合場所もあるので、出発してよいか迷うが、出発しても人のせいにはしない。
3. 遅れた人を迎えに行くこともあるが、迎えに来なくても文句は言わない。お迎えは、リーダーの心遣いであり、責任はない。自分の力で集合できるようにすることが勉強

集団で生活するという事は、相手を気遣うということが必要になります。他の人のことまで考えることは、面倒くさいと感じることもあり、わずらわしいと感じることもあります。でも、そのわずらわしさを乗り越えていくことで、心が大きく成長していくのです。下級生の皆さんは上級生の言うことをよく聞いてください。上級生の皆さん、特に6年生の皆さん、集団登校のリーダーも、あと少しの日しかありません。最後までよろしくお願いします。



## 集団登校にかかわるお家の方へのお願い

1月28日に「美篤小の子どもを守り育てる会」小委員会を開催いたしました。子どもの安全にかかわる大事な会議として位置づいているものです。その中で、集団登校について課題が出され、対応が必要であることが改めて明らかとなりました。

現在、集団登校は、支部PTAにて組織し、6年生など高学年を中心とするリーダーの下で実施されています。課題として、出発時にグループ全員が揃わないことや、登校途中でグループが離れてしまうことがあります。班長（リーダー）は責任感をもって取り組んでおり、出発時に全員が揃わないことで、出発してよいのか判断に迷ったり、集合場所に来ていない児童をリーダーが迎えに行くかどうか判断が難しかったりという現状があることが分かりました。

登校時刻が変わることを地域ボランティアの方に教えてくれた児童もいます。挨拶だけでなく、このようなつながりをつくるなかで、子ども達は、社会の一員としての自覚と資質を磨いていけるものと考えます。

今回、校長講話として、ボランティアの皆さんへの感謝とともに、集団登校の歴史、意義や課題について子どもたちに話をしました。安全な登下校と集団生活の向上、心の成長を願うことです。ご家庭におかれましては、その趣旨をご理解いただき、子ども達への啓発とご協力をお願いします。

## 見守り隊が増えてきています

みすずっ子応援団通信でもお知らせしてきた子ども見守り隊ですが、現在28名の方が申し込んでくださいました。守り育てる会小委員会でも、安心の家、見守り隊の充実、グリーベルト設置運動、見守り隊ベストの整備と、子どもたちの安全を守るためにできることが実行できつつあると確認いたしました。各支部長の皆さんには、見守りしていただいている方の情報を収集していただきました。ありがとうございました。委員会の中では、見守り隊は増員してきていますが方面によって少ないところが見られるので、保護者の皆さんや、地域の皆さんのお声がけにより、子どもの登下校時間のご都合の良い時間に、気軽に見守りに参加していただける方を引き続き募集していくことが確認されました。ぜひお近くの方へのお声がけ等のご協力をお願いいたします。



## 児童会活動の振り返りと引継ぎ

2月12日第2回児童総会の様子



2月12日(水)に今年度の児童会活動の締めくくりとしての児童総会が行われました。本年度の児童会は、選挙で選ばれた宮原秀也児童会長のもと、「みんな心ひとつに 明るい美篤小」をスローガンにすえて、美篤小学校の学校生活を明るく豊かなものにしよう本部と10の委員会で構成されました。各委員会から当番活動や委員会ごとで企画してきた活動について課題と成果が発表されました。質疑・応答では、「ごみの分別カードをつくって教室に配布・掲示したらどうか」という提案から当番の人数、楽しかった企画のさらなる工夫点まで、具体的に建設的な意見がたくさん出されました。総会では、西村 詩新児童会長が、児童数減少のため来年度は8つの委員会で構成することを提案し、承認された後、次年度の児童会役員も発表されました。児童会を引き継ぐ5年生は、きっと、これまで見てきた先輩の姿や成果と課題を生かして自分たちの児童会を創り上げてくれるでしょう。